



# 営農NEWS



## ハクサイやレタスの病害防除に努めてください

ハクサイやレタス栽培では、9～10月に数度の台風襲来や前線の通過による強風雨などで降雨や曇天の日が続き、病害の発生しやすい圃場環境で経過しています。

病害虫発生予報11月号（県病害虫防除所）によると、11月におけるハクサイ黒斑病の発生は平年より多く、軟腐病やべと病は平年並と予測しています。また、レタスでは、菌核病が平年より多い発生と予測しています。

ハクサイ黒斑病は、病斑上に形成された分生胞子が飛散して伝染し、晩秋～初冬にかけてハクサイの生育後期に発生しやすい傾向があります。軟腐病やべと病などと共に多湿条件のときに発病進展しますので、今後、収穫近くになっても発生には注意が必要で、各病害の薬剤防除に努めてください。

レタス菌核病は、低温、多湿の条件で発病進展し、結球期以降から発生が多くなる傾向がありますので、生育の遅い作型では今後とも予防や発生初期の防除に努めてください。また、腐敗病も収穫期近くになって降雨が多くなると、急速に発病進展することがありますので、気象予報を考慮しながら薬剤の予防散布に努めて下さい。

### 【病害防除のポイント】

- 1 多湿な圃場環境は病害の発生を助長しますので、圃場排水対策など環境改善に努めてください。
- 2 薬剤散布にあたっては、株元や下葉、葉裏にも薬液が十分かかるよう丁寧に散布することが重要です。
- 3 防除薬剤は、下記を参考に**収穫前日数に十分注意**してください。

表1 ハクサイ黒斑病の主な防除薬剤 (令和3年11月2日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
シグナムWDG	1,500～2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	7と11
ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	収穫3日前まで / 3回以内	11
パレード20フロアブル	2,000～4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	7
ダコニール1000	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	M5
オーソサイド水和剤80	600～1,200倍	収穫7日前まで / 5回以内	M4

注) 各表の分類欄には、FRACコードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 ハクサイ軟腐病、黒斑細菌病の主な防除薬剤 (令和3年11月2日現在)

薬剤名	軟腐病	黒斑細菌病	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
スターナ水和剤	○	○	1,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	31
ソータルWDG	○		1,000倍	収穫14日前まで / 3回以内	14と31
アグリマイシン-100	○	○	1,500～3,000倍	収穫14日前まで / 3回以内	25と41
バリダシン液剤5	○	○	500倍	収穫3日前まで / 3回以内	U18
Zボルドー	○	○	500倍	- / -	M1

表3 レタス、非結球レタス 菌核病の主な防除薬剤 (令和3年11月2日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
パレード20フロアブル	○	○	2,000～4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	7
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000～3,000倍	収穫3日前まで / 3回以内 収穫14日前まで / 3回以内	11
シグナムWDG	○	○	1,500倍	収穫7日前まで / 2回以内 収穫14日前まで / 2回以内	7と11
スミレックス水和剤	○		1,000～2,000倍	収穫7日前まで / 5回以内	2

表4 レタス、非結球レタス 腐敗病の主な防除薬剤 (令和3年11月2日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
カセット水和剤	○	○	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内 収穫14日前まで / 2回以内	24と31
カスミンボルドー	○	○	1,000倍	収穫7日前まで / 4回以内	24とM1
バリダシン液剤5	○	○	800倍	収穫前日まで / 3回以内 収穫3日前まで / 3回以内	U18

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040